

会員各位

令和4年1月14日

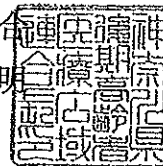
鎌倉市医師会会長 山口 泰
公衆衛生担当理事 今井 一登

多剤・併用禁忌薬剤服薬者指導事業の実施に係る協力について

神奈川県医師会より通知が参りましたのでお知らせします。

神奈川県後期高齢者医療広域連合

広域連合長 上地 克明



多剤・併用禁忌薬剤服薬者指導事業の実施に係る御協力について（依頼）

時下、貴会におかれましてはますます御発展のこととお喜び申し上げます。

日頃から、当広域連合が行う後期高齢者医療事務並びに後期高齢者医療制度に御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

当広域連合では、高齢者の薬物有害事象を回避し、健康被害の防止を図ることを目的とした、「多剤・併用禁忌薬剤服薬者指導事業」の実施について別紙のとおり準備を進めております。

担当 神奈川県後期高齢者医療広域連合
企画課保健事業係 瀬口

電話 045-440-6703

〒《自宅郵便番号》

《自宅住所》

令和4年1月吉日

《氏名》 様

神奈川県後期高齢者医療広域連合

《参加者ID》

お薬に関するお知らせ ～お薬と上手に付き合うために～

神奈川県後期高齢者医療広域連合では、複数の医療機関に受診され、6種類以上のお薬を処方されている方へ、このお知らせを送っています。

お薬の種類が増えると、飲み合わせによっては、副作用が起こることもあります。同封のリーフレットをご覧ください、気になる症状やお薬に関する困りごとなどがございましたら、必ず、薬剤師や医師に相談しましょう。



<このお知らせに関する問い合わせ先>

株式会社 ベネフィット・ワン

〒100-0004 東京都千代田区大手町二丁目6番2号 日本ビル9階

電話：0120-172-070

受付時間：平日9:00～17:00

※このお知らせは、神奈川県後期高齢者医療広域連合が株式会社ベネフィット・ワンへ委託して実施しております。委託契約に基づき提供する個人情報については、関係法令、各種ガイドライン等を遵守し、万全の体制のもと、取り扱っております。

<委託者>

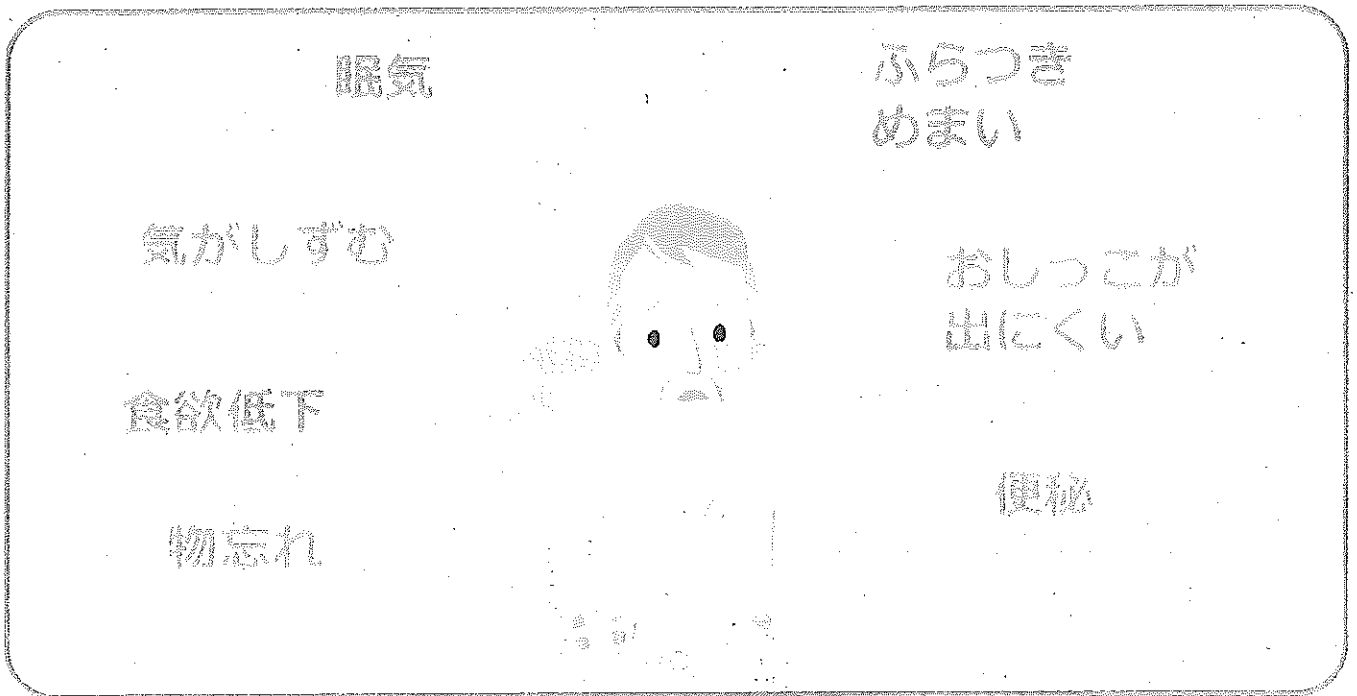
神奈川県後期高齢者医療広域連合（事務担当：企画課保健事業係）

電話：0570-001120（ナビダイヤル）

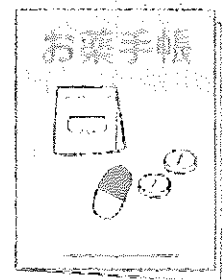
045-440-6700（PHS、050で始まる電話からかける場合）

お薬と上手に付き合って いつも元気!!

薬の種類が増えると、飲み合わせによっては、副作用が起こりやすくなるので注意が必要です。気になる症状があるからといって、ご自身の判断で薬をやめたり、減らしたりすると、病気が悪化することがあります。必ず、薬剤師や医師に相談しましょう!



- ・いつも同じ薬局を利用して（かかりつけ薬局）、お薬をまとめて管理してもらおうと安心
- ・お薬の記録は、1冊のお薬手帳で管理
- ・複数の診療科にかかる場合は、薬剤師や医師にお薬手帳を見てもらい、今使っているお薬は忘れずに伝える



いつもと違う病院にかかった時、先生と薬剤師さんにお薬手帳を見せながら、薬の飲み合わせについて相談したところ、副作用を防ぐことができました。



大雨で避難した時は、薬が持ち出せませんでした。お薬手帳のおかげで今飲んでいる薬がわかり、早く手に入ったので、ほっとしました。

薬に関する問い合わせの方法

薬のことでお困りのことはありませんか？

- 薬の飲み忘れがある
- 自宅に余った薬がある
- 2箇所以上の薬局・病院等で薬を受け取っている

このようなお悩みがございましたら・・・

ご利用されている薬局、診療所又は病院にご相談ください。
☆お問い合わせの時は、お薬手帳をお手元にご用意ください。

【ご家族・介助者の方へ】

みんなで服薬管理をサポートしましょう！

- 高齢になると、視力低下などで薬がはっきり分からず飲み間違えたりすることが少なくありません。
- 家族や介助者の方は薬の管理をサポートしたり、薬を服用する時は、そばについてあげるなど協力をお願いいたします。

お問い合わせ先

株式会社ベネフィット・ワン

(委託者: 神奈川県後期高齢者医療広域連合)

0120-172-070

(通話料無料 平日9:00~17:00)

事業概要

「令和3年度多剤・併用禁忌薬剤服薬者指導事業」

1 事業の目的

多剤・併用禁忌薬剤の服薬者に対して、お薬手帳の活用、薬を飲み忘れない方法、余った薬の対応等、薬と上手に付き合うための情報を通知することで、薬剤への関心を高めていただき、薬剤師及び医師への相談を促すことで、高齢者の薬物有害事象を回避し、健康被害の防止を図る。

2 事業実施時期（通知発送）

令和4年1月（予定）

3 対象市町村

県内全市町村

4 対象者及び対象者数

（1）対象候補者の基準

次のいずれかに該当する者

ア 併用禁忌薬剤を服薬している者

イ 複数医療機関から内服薬が長期（15日以上）処方されている且つ長期処方の内服薬が6種類以上

ウ その他委託者が認めた者

ただし、1型糖尿病の者、既に人工透析を行っている者、個人の状態を詳細に分析し、がん、難病、精神疾患、認知症、その他指導や勧奨が困難と判断される者は除外する。

（2）対象者数

300人（予定）

5 事業主体

神奈川県後期高齢者医療広域連合

（データ分析及び対象者抽出、通知発送は民間委託）

6 実施手順

（1）レセプトを委託業者に提供（広域連合）

（2）レセプトを分析し、多剤・併用禁忌薬剤服薬の基準を満たす者を事業対象者として抽出（受託者）

（3）対象者の選定（広域連合）

（4）対象者に、通知を郵送（受託者）

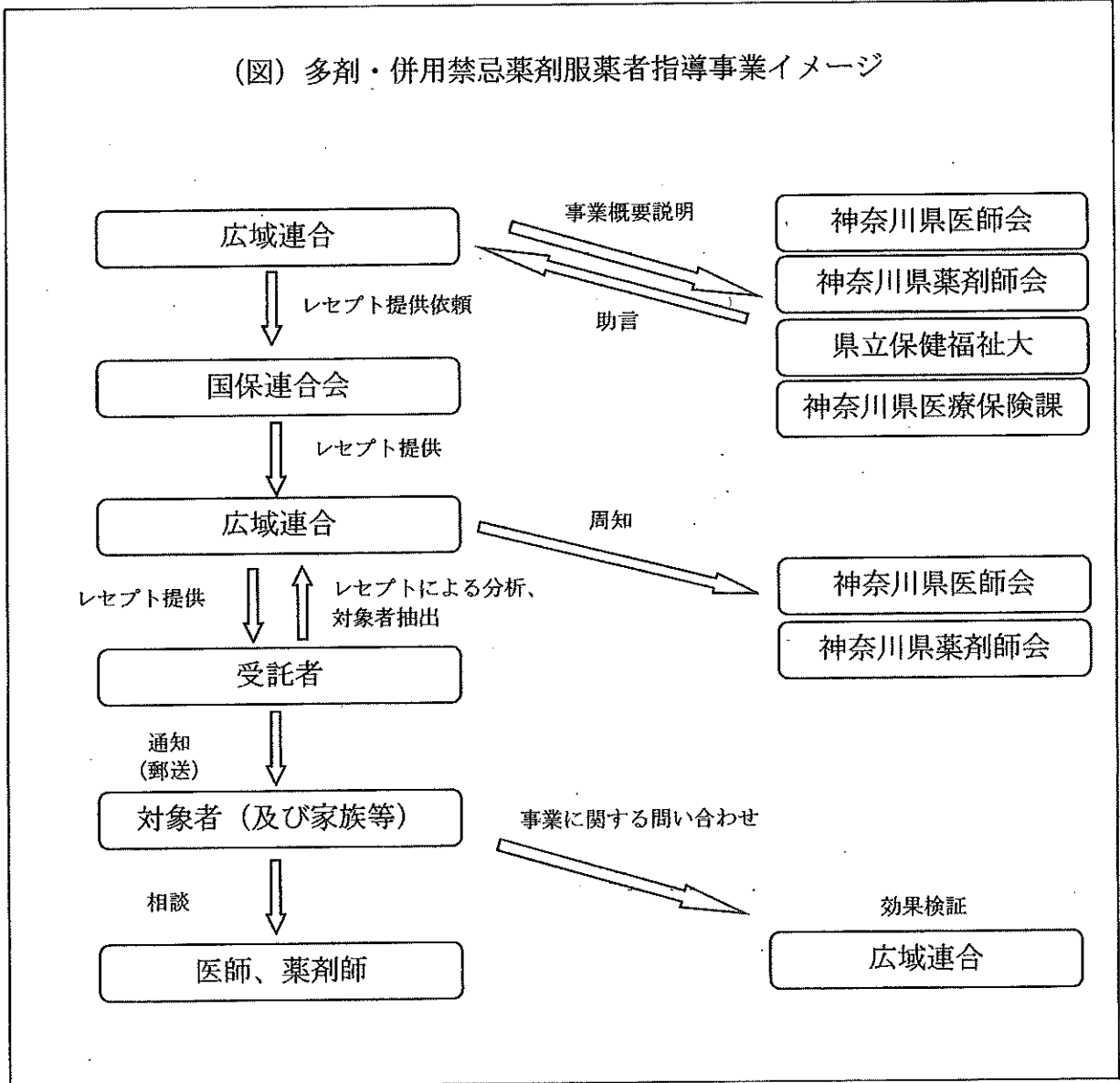
7 評価

対象者の行動変容（受診状況、レセプトを確認）等

8 関係団体との連携

- 令和2年11月 神奈川県薬剤師会に事前相談
- 令和3年 1月 神奈川県医師会に事前相談
- 2月 神奈川県薬剤師会に薬剤併用禁忌リスト確認
- 8月 神奈川県医師会に薬剤併用禁忌リスト確認

(図) 多剤・併用禁忌薬剤服薬者指導事業イメージ



薬剤併用禁忌組み合わせリスト

No.	使用薬剤	併用禁忌薬	理由
1	催眠鎮静薬・抗不安薬 ・スボレキサント (ベルソムラ)	抗菌薬 ・クラリス、クラリシッド	併用禁忌薬が代謝を阻害するため、使用薬剤の効果が強くできる可能性があるため。 症状：眠気
2	抗うつ薬 ・フルボキサミン (デプロメール、ルボックス)	筋弛緩薬 ・チザニジン (テルネリン)	使用薬剤が代謝を阻害するため、併用禁忌薬の効果が強くできる可能性があるため。 症状：著しい血圧低下、傾眠、めまい、精神運動能力低下
3	抗うつ薬 ・フルボキサミン (デプロメール、ルボックス)	催眠鎮静薬・抗不安薬 ・ラメルテオン (ロゼレム)	使用薬剤が代謝を阻害するため、併用禁忌薬の効果が強くできる可能性があるため。 症状：眠気、倦怠感、めまい
4	抗うつ薬 ・パロキセチン (パキシル)	パーキンソン病治療薬 ・セレギリン (エフピー)	両剤の作用が増強される可能性があるため。 症状：不安、頻脈、振戦
5	抗凝固薬 ・リバロキサパン (イグザレルト)	抗菌薬 ・イトラコナゾール (イトリゾール) ・ボリコナゾール (ブイフェンド) ・ミコナゾール (フロリード)	併用禁忌薬が代謝を阻害するため、使用薬剤の効果が強くできる可能性があるため。 症状：出血
6	抗凝固薬 ・ダビガトラン (プラザキサ)	抗菌薬 ・イトラコナゾール (イトリゾール)	併用禁忌薬が代謝を阻害するため、使用薬剤の効果が強くできる可能性があるため。 症状：出血
7	抗菌薬・抗ウイルス薬 (カルバペネム系抗菌薬) ・パニペネム・ベタミプトン (カルベニン)、 ・メロペネム (メロペン) ・イミペネム・シラスタチン (チエナム)、 ・ピアペネム (オメガシン) ・ドリペネム (フィニバックス)、 ・テビペネム ピボキシル (オラペネム)	抗てんかん薬 ・バルプロ酸ナトリウム (デパケン)	バルプロ酸の血中濃度が低下するため 症状：けいれん再発

※参考通知：平成30年5月29日付け「高齢者の医薬品適正使用の指針（総論編）について」

R3 多剤・併用禁忌薬剤服薬者指導対象者

		対象者		
		多剤	併用禁忌	合計
1	横浜市	106	1	107
2	川崎市	33	1	34
3	相模原市	16	0	16
4	横須賀市	19	2	21
5	平塚市	11	1	12
6	鎌倉市	3	0	3
7	藤沢市	14	0	14
8	小田原市	2	0	2
9	茅ヶ崎市	6	0	6
10	逗子市	2	0	2
11	三浦市	1	1	2
12	秦野市	3	1	4
13	厚木市	6	0	6
14	大和市	5	0	5
15	伊勢原市	1	0	1
16	海老名市	2	0	2
17	座間市	4	0	4
18	南足柄市	6	0	6
19	綾瀬市	1	0	1
20	葉山町	1	0	1
21	寒川町	1	0	1
22	大磯町	1	0	1
23	二宮町	0	0	0
24	中井町	0	0	0
25	大井町	1	0	1
26	松田町	2	0	2
27	山北町	1	0	1
28	開成町	0	0	0
29	箱根町	2	0	2
30	真鶴町	0	0	0
31	湯河原町	1	0	1
32	愛川町	0	0	0
33	清川村	0	0	0
合計		251	7	258

